

ゼロエミ世田谷 これまでの経緯

2021年 区長と面談ー2030年CO₂削減目標を62%以上に、と要請
区長がツイートや議会答弁で62%以上に言及

環境団体別対話2022年提言
(区長など出席)ゼロエミ1時間プレゼン

2023年2月10日 気候危機区民会議
10団体出席

ゼロエミが、2030年CO₂削減目標を66%で提言

2023年3月 世田谷区で温暖化の計画策定
温室効果ガス 57.1%削減 野心的目標66% CO₂ 62.6%



ゼロエミ世田谷

8月17日 世田谷区長や関係職員の皆さまとゼロエミ世田谷と専門家の方と意見交換し、以下を説明

- ・暑くて学校現場で子どもたちが危険に晒されている
- ・断熱改修をすれば高い効果を得られる
- ・自主的な断熱改修が全国で行われている

9月22日 中山みずほ区議が、区議会の一般質問で、気候危機対策の具体策としての公共施設・住宅の「断熱」について[質問](#)。区は、学校の最上階の断熱を子どもたちも参加できるワークショップ形式でおこなって、効果を検証すると答弁

→ 東京新聞でも世田谷区に取材



ゼロエミ世田谷

①「くらしGX」の加速化

断熱の波は、
公営住宅に
及んでいます。

世田谷では議会で、
区営住宅の改修時の
断熱化や、公共施設
について指針策定と
答弁あり。

- エネルギー価格高騰の中、電気・ガス等の価格に対する激変緩和措置に万全を期すとともに、くらし関連分野のGXを進め、その果実を国民が実感でき、くらしの質が向上するよう、各家庭の光熱費低減や、快適性向上につなげる。GX推進による果実を国民が実感できるよう、必要な投資促進策を講じていく。
- 具体的には、断熱性能に優れた窓改修、高効率給湯器（ヒートポンプ等）、次世代自動車等の導入支援など、強力なGX投資促進策を講じる。

【具体的な投資促進策のイメージ】

断熱窓	・住宅の熱の出入りの7割は窓。断熱窓導入は光熱費低減の鍵であり、引き続き断熱投資を支援。 ・公営住宅等の賃貸集合住宅向けは、自治体と協力して重点支援	
給湯	・既築住宅における高効率給湯器等の導入を支援。	
自動車	・次世代乗用車に対して最大85万円の補助。 ・バス等の電動化について従来車との差額の2/3等を支援。	
建築物のゼロエミッション化等	・教育施設、病院、商業施設などの建築物のゼロエミッション化等を支援し、暮らしの質を向上。	
ZEH	・子育て世帯・若者夫婦世帯に対し、ZEH住宅の購入を支援。 ・また、壁・床の断熱改修等のリフォームに対し、工事内容に応じて一定額を支援。	
太陽光・蓄電池	・家庭用太陽光発電、蓄電池等の導入に対して1/3の補助率で支援。 ・家庭におけるV2Hの普及をはじめ、充電インフラの整備を支援。	
省エネ家電	・臨時交付金を積み増し、自治体による冷蔵庫等の省エネ家電買い替え支援策の活用を促進。	

GX実行会議資料より
(11月7日)→